

四月二十九日(日)、恒例の総会当日、安達太良山湯川渓谷登山道の整備作業を実施した。今年は降雪残雪共に多く、二十九日の実施

が危ぶまれていたが、三月末から急激な気温上昇が続いた。雪解けが一挙に進んだ。当日は午前七時半に塩沢スキー場の登山口に集合。先



恒例の登山口集合写真 全員ではありません

四月二十九日(日)
安達太良山
湯川渓谷登山道整備作業
報告編集部



天狗岩上橋 架け直し



倒木処理

●編集部連絡先
二本松市郭内1-5-5
0243(22)4245
渡辺 正

日の下見の結果を受けて、くろがね小屋班・荒竜岩架橋班に別れて登山を開始した。天狗岩上橋からは、徒

ながらの登山となつた。くろがね小屋班は十一時半に小屋に到着、昼食休憩となり、動くと暑いから

涉河所への架橋、アルミ橋

の架け直し、既に架けられ

ている橋の手入れを実施し

た。

湯川渓谷登山道の「通行止

り」

ながらの登山となつた。く

ろがね小屋

橋

は十一時半に

は小屋に到着、昼食休憩と

なるもの

ながらの



塩沢スキー場 ハルリンドウ



登山道の ショウジョウバカマ

の好天気だった。二十九日の作業の結果、二本松市内では最高気温二十七度を越える夏日となつた。湯川渓谷でも残雪はあるものの、動くと暑いから

トラローブ」は解除されたが、残雪があったり、雪解けで崖の崩れた場所があり、例年通りの残雪期の山だ。利用には十分注意して頂きたい。

登山道は花のシーズンが始まり、カタクリは登山口

から金剛清水のちょっと上迄、ショウジョウバカマはその上から「くろがね小屋」に向かって歩いている。ツツジは塩沢スキー場上部でツボミ

が見られた。塩沢登山口のスキー場ゲレンデでは、力タクリとハルリンドウの可憐な花を見る事が出来る。会員十五名が参加した。

第六十一回定期総会は四月二十九日(日)午後五時三十分から、二本松駅前の太陽プラザ三階で開催された。今年は周年にあたり、九月に記念山行が行われる。毎月月例山行・平日山行・登山道整備が予定されている。総会



四月二十九日(日)
第六十一回定期総会開催
報告編集部

には会員三十四名が参加した。総会終了後、山岳懇談会が行われた。来賓の二本松市長・二本松体協会長の各氏から御挨拶を受けた。会員三十名、来賓四名が参加した。

五月二十日(日)

第六十四回 安達太良山開き

報告編集部



恒例 テラス集合 午後3時45分

本松駅前集合、三浦副会長の挨拶・指示を受けた後、三班に別れて登山口に向かう。当日は良く晴れたが、雪安達太良山・吾妻山では山頂部が白くなっていた。十六日には二本松で三二・七度、気温の上下が烈しい。当日私の最初の行動は塩沢斑に「レスキュー・ネット」届けること、朝渡すの忘れたのだ。私の斑は奥岳から笠山下を通って山頂へのルート。途中婆ヶ前では下に降りていた婆様を戻した。抉れた道には水が溜まり登りにくいこと夥しい。花はシヨウジヨウバカラマ、イワカガミはまだ蕾、そしてミネズオウ(峰蘇芳)が沢山開花していた。昔のピンクが目立つて白ではなく桃色の絨毯になっているのが珍しい。牛の背からは飯豊連峰が実にくっきり見えた。山頂では塩沢から登った従業員の車に同乗して一緒に下山した。途中での無線で、くるがね小屋に足首捻挫の女性がいたが、小屋の従業員の車に同乗して下山することとなり、当会は関与無し。午後三時四十五分には、恒例のテラス集合写真を撮影。

午後五時五十分からは駅前太陽プラザで反省会。今年の山開きも無事に終了した。

当日は午前六時十五分二本松駅前集合、三浦副会長の挨拶・指示を受けた後、三班に別れて登山口に向かう。前日には山岳地帯では降

雪安達太良山・吾妻山では山頂部が白くなっていた。十六日には二本松で三二・七度、気温の上下が烈しい。当日私の最初の行動は塩沢斑に「レスキュー・ネット」届けること、朝渡すの忘れたのだ。私の斑は奥岳から笠山下を通って山頂へのルート。途中婆ヶ前では下に降りていた婆様を戻した。抉れた道には水が溜まり登りにくいこと夥しい。花はシヨウジヨウバカラマ、イワカガミはまだ蕾、そしてミネズオウ(峰蘇芳)が沢山開花していた。昔のピンクが目立つて白ではなく桃色の絨毯になっているのが珍しい。牛の背からは飯豊連峰が実にくっきり見えた。山頂では塩沢から登った従業員の車に同乗して一緒に下山した。途中での無線で、くるがね小屋に足首捻挫の女性がいたが、小屋の従業員の車に同乗して下山することとなり、当会は関与無し。午後三時四十五分には、恒例のテラス集合写真を撮影。

午後五時五十分からは駅前太陽プラザで反省会。今年の山開きも無事に終了した。



塩沢登山口



塩沢班、湯川渓谷行動中



反省会



駅前集合



薄雪を被った山頂

五月二十三日 (水)

湯川渓谷丸札設置作業

報告 編集部

2018/05/23



塩沢登山口出発



花（アヅマシャクナゲ（東石楠
花）も開花している。

三時半には全員無事に塩沢
登山口に到着した。

登山道閉鎖時に撤去され、
夏の登山シーズン前に設置
される。塩沢スキー場登山
口が「三十番」、くるがね小
屋が「一一番」、くるがね小
屋等から十一名が参加し、塩
沢登山口の一一番から設置し
ていった。正午過ぎには、
くろがね小屋に到着、昼食
後、小屋に預かって貯って
いた二十六番から三十番を
下山しながら設置し、午後
三時半には全員無事に塩沢
登山口に到着した。

朝八時、二本松駅集合で
川桁山登山口リストル猪苗
代を目指し、高速で出発し
ました。九時から林道を歩
き、十時三十分、観音寺川
登山口へ到着。ここまでは
少しすつの傾斜なので新緑
と草花を楽しみながらあつ
いう間でした。登山口か
らは力の登山道が徐々に
石だらけで水が流れる滑り
易いガレ場の登山道となり
ます。

二十三日(水) 安達太良
山湯川渓谷登山道に
丸札道標(サイン看板)が再設
置された。例年初冬時の、
道標(サイン看板)が再設



六月四日 (月)

五月平日山行 晴天の川桁山へ

報告 高橋国藏

五月二十九日 (火) 屏風岩向に 桟橋設置

報告 編集部



湯川渓谷登山道、昭和四
〇年代までは安達太良山で
は一番賑わった。山開きには
は二本松駅前から臨時バス
が次々出た。変化に富む渓
谷沿いの静かな林間の登山
道、二時間強でくるがね小
屋迄到達できるので今でも
利用者は多い。途中屏風岩
に向いの崖には昭和三十年代
に設置された棧道があつた
が、三年前の春の登山道開
通作業時に雪崩で流出し
たことが確認された。それ
以前に手懸かり用のクサリ
は設置済み。棧道設置時の

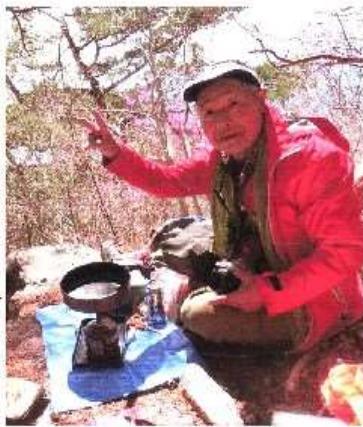
定だ。

二十九日(火)、朝から
二往復して材料を運び上
げ、番線で埋め込まれてい
た鉄筋に固定して、午前中
には完成させた。火曜日と
いうウイークデイであつた
が登山道利用者はおり、出
来上がった棧橋を喜んで通
過していた。沢のまつただ
中で雪崩の常襲地帯なので
棧橋は冬期間は取り外す予

四月八日(日)

個人山行・誕生日記念

報告 菅野善雄



来て良かった
と話して
いた。
張りで休
憩し登る。赤
ヤシオ別名岩
ツツジと言う
ので、今回は
岩コース取
つかまり、ヤ
シオのトンネ
ルの中を歩いて
いる様で樂
しみも倍増した
感じ。私の
いつもの昼食休憩場所十二
時二十分。山友が準備して
くれた、ケーキ・ローソク
花も見頃、最高の思い出に
残る誕生日記念登山になっ
た。いっしょしてくれた山
友、ありがとうございまし
た。

四月八日はお釈迦様の誕生日、私と同じだ。七十八歳記念登山と新潟県の角田山のユキワリ草を見に行く計画したが、日本海側の天洋側の二ツ箭山に変更。山友を誘い出発する。夏井川渓谷は赤ヤシオが見頃で車止めカメラに收める。二つ箭山駐車場十時出発、途中下山者山の花の状況を聞くと最高とのこと。十五日に予定していたが、早く

八日、悪天候で延期となる。再開されて間もない四月二十日、一切経山へ浄土平からピストンで入山する。

個人山行・一切経山

報告 菅野善雄



醋ヶ平避難小屋、右側は便所

南小登山ガイド

報告 編集部

【参加者】六年生青木・三浦敏男、四年生小林・渡辺正、平館写真館の手伝いで佐藤延子。
【行動】午前七時半南小集

合、六年生四年生ガイドを含めてバス二台に乗込み出発。八時半には奥岳登山口出発。途中の登山道では外れ皆んな雪が多い沢

音が入っているとのこと。酸ケ平の木道も全部出ていて、酸ケスノーリューやアイゼン付けていた登山者は皆んな外して歩いている。小屋十時一時、一切経から下山して来た方に聞くと風が強い山する事にし長い休憩となる。

いつも昼食休憩場所十二時二十分。山友が準備してくれた、ケーキ・ローソク花も見頃、最高の思い出に残る誕生日記念登山になつた。いっしょしてくれた山友、ありがとうございまし

たため、風雪でドアが開き、雪が吹き込みそれが外に出せない大きさの外に出せない大きさケルをテコに氷の塊を小屋の中程に移動。二、三人でスノーリューやアイゼン付けていた登山者は皆んな外して歩いている。小屋十時一時、一切経から下山して来た方に聞くと風が強い山する事にし長い休憩となる。

水り大きな固まりになつてしまつたと思う。ちょっとした心遣い忘れないよう

にしたいものですね。

個人山行・一五〇歳記念登山

報告 菅野善雄



第六回安達太良山開き、晴天に恵まれた五月二十日行われ、安達太良連盟による「一万一千人が山を開き楽しんだ」との事。当会も警察・自衛隊と共に各コースに別れ安全パトロールに参加、一日会員として私の妻も参加することが出来た。以前から今年は二人合わせると一五〇歳になる。山開きに記念登山でもしようかと話していたところ、会から妻の参加を認めてき二人で一五〇歳記念登山を安達太良山開きに実施する事にした。記念写真も会の学さんにお願いし、また山頂にいた多くの登山者も祝福を受け最高の幸福でした。会、そして会員の皆様、御協力ありがとうございました。善雄七八歳、日奈子七二歳。



南小登山 帰納式

六月一日(金)

南小登山ガイド

報告 編集部

いたが開花直後ののでピンクが極めて鮮やか、峰の辻で昼食後牛の背経由で山頂へ。先行した六年生の内始めの方は沼の平見られた。夕方六時からは奥岳登山頂へ。仙女平分岐のあたりで力ガミ(岩鏡)が開花して落伍する児童はおらず、無事に登山を終えることができた。夕方六時からは参

加した先生と一緒に太陽普

ラザで反省会

だった。

いたが開花直後ののでピン

クが極めて鮮やか、峰の辻

がね小屋より上では、イワ

生も四年生も

力ガミ(岩鏡)が開花して落伍する児童

はおらず、無事に登山を終えることができた。夕方六時からは参

加した先生と一緒に太陽普

ラザで反省会

だった。